



釜谷白駅——札幌最北の駅である。

「カマヤ・ウシ」（平たい岩のあるところ）、北海道のほとんどの地名がそうであるようにアイヌ語からのものである。しかし、

この地に平たい岩があったという事実はない。

釜谷白駅が開駅したのは昭和三十三年七月一日。

札幌線の全線開通は昭和十年だが、地元ではこの三年前から「札幌線釜谷白駅設置期成会」を発足

札幌最北の駅

させ故宮西武五郎さんを中心とした運動を開始している。

待ち望んだ開駅には、実に四半世紀を要したのである。

札幌線（下り）東篠路駅を過ぎたあたりから車窓には見渡すかぎりの原野が広がる。そのまっただ中に釜谷白駅がある。

現在、一日約五十人の乗降客のほか、季節によって釣人たちが釜谷白駅プラットフォームを踏む。

所在地 札幌市北区滝野町拓哉、札幌駅から約三十分、片道料金百円。



札幌線と
釜谷白駅 = 4月写す